

中央大学特定課題研究費 一研究報告書一

所属	文学部	身分	教授
氏名	小山憲司		
NAME	Kenji KOYAMA		

中央大学特定課題研究費による研究期間終了に伴い、中央大学学内研究費助成規程第15条に基づき、下記の通りご報告致します。

1. 研究課題

(和文) 海外の日本研究者の情報利用行動

(英文) Information Use Behavior of Japanese Studies Researchers in Foreign Countries and Areas

2. 研究期間

2023年度～2024年度

3. 研究の概要（背景・目的・研究計画・内容および成果 和文600字程度、英文50word程度）

(和文)

本研究は、海外の日本研究者がどのように学術情報資源を探し、入手し、研究成果を発表しているかを明らかにすることを目的とする。一般に日本を対象とする研究者は、日本語の文献や資料を探索、入手、利用している。他方、その成果は日本語で発表されるものもあれば、海外の研究者(読者)を想定して英語を用いて発表される場合もある。このとき、発表言語の違いにより、本来であれば共有すべき研究成果が共有されず、あらたな知見の発見や研究の進展に影響を与えるおそれがある。そこで本研究では海外の日本研究者を対象にインタビュー調査を行い、研究活動の実態を把握とともに、研究活動を支援する大学図書館のありようを検討した。

本研究では2022年度の研究休暇の成果をもとに発展させる予定であったが、追加のオーストラリアでのインタビュー調査は校務等により実現できなかった。そこで、まずはこれまでの調査結果をまとめ、2023年9月に国際学会で発表した。その後、文献調査を進めるとともに、オーストラリアの隣国であるニュージーランドの大学図書館における学術情報の電子化への対応等を調査し、今後の研究の展開に努めた。

(英文)

The purpose of this study is to clarify how Japanese studies researchers look for and obtain academic information resources and publish their research results. The interview survey was adopted in order to achieve this goal.

Additional interviews in Australia could not be conducted due to school duties and other works, but the findings to date were presented at an international conference (JSAA-ICNTJ2023) in September 2023. Interview surveys at two university libraries in New Zealand as well as a literature survey were conducted in 2024. The results of those studies will be used to develop this research.